

くいやま

# 社協だより

令和5年(2023)年

第127号

9月



## やさしく赤ちゃんをだっこ 夏休み体験ボランティア 子育て支援センター「スキップ」

夏休み体験ボランティアは、  
栗高生16名(延べ25名)に参加  
いただき、実施いたしました。  
(関連記事P7)



社協  
ホームページへ

- 社協新役員のご紹介……………2
- 第7期地域福祉実践計画概要  
共同募金委員会役員のご紹介……………3
- 令和4年度事業報告、決算……………4、5
- 令和5年度事業計画、予算……………6
- 花いっぱい運動  
夏休み体験ボランティア……………7
- お知らせ等……………8

# 第7期地域福祉実践計画概要 - 令和5年～9年 -

## 基本理念

みんなで支え合い  
やさしさはぐくむ  
福祉のまちづくり

## 基本計画1

地域で支え合うつながりづくり

### ■地域のつながりをつくる

「命のバトン配付事業と訪問活動」や「ケアラー事業の推進」、「まちなかカフェ事業」等、多様化する地域課題に対応するため、地域支え合いのネットワーク形成とつながりづくりの推進。

### ■誰もがわかる福祉づくり

「社協だより」、「講座等の行事案内チラシ」、「ホームページ」等とSNSを活用した情報提供を推進。

## 基本計画3

人や地域を育てる仕組みづくり

### ■人を育てる、地域を育てる

子どもの頃から福祉を知ってもらい、関心を高める取り組みとして、「小学校や高校での福祉学習や福祉体験」、「夏休み体験ボランティア」等による事業推進。

### ■誰もが参加できる地域づくり

「社協だより」、「講座等の行事案内チラシ」、「ホームページ」等とSNSを活用した情報提供を推進。

令和5年3月、第7期地域福祉実践計画（令和5年～9年の5か年計画）を策定しました。

## 基本計画2

安心して暮らせる地域づくり

### ■自分らしく地域で暮らす

栗山町が推進する介護予防、地域支援事業、また、北海道社協から受託している「生活福祉資金貸付事業」と町社協独自の「応急生活資金貸付事業」による貸付事業により、自立支援を推進。

### ■個人を大切に作る仕組みづくり

権利擁護として、高齢者等の金銭管理等をサポートする北海道社協から受託している「日常生活自立支援事業」を推進。福祉関係団体や介護福祉学校と連携し、世代間交流を含んだ活動支援を推進。

## 基本計画4

地域福祉を推進する社協づくり

### ■みんなでつくる社協をめざして

いただいた会費や募金が地域福祉推進のため、町内で活かされていることを周知し、ご理解のうえ協力いただく取り組みの推進。

### ■元気いっぱいの組織づくり

役職員の研修や先進地視察をし、地域特性に応じた取り組みの推進。

## 社協役員のご紹介

- ◆理事  
令和5年6月23日の評議員会にて選任
- ◆評議員  
令和5年6月15日の評議員選任・解任委員会にて選任
- ◆運営協議会委員  
令和5年6月7日の理事会にて選任（任期6月20日より）



栗山町社会福祉協議会  
会長 初山 清仁

## 就任挨拶

町民の皆さまには、日頃より栗山町社会福祉協議会におかれましては、誠にありがとうございます。初任の役員として、心から感謝とお礼を申し上げます。就任の度に、6月の役員改選にて会長に就任いたしました。前任の会長様から引き継ぎ、引き続き、地域福祉の発展に努めたいと考えています。令和5年6月23日の評議員会にて選任された理事、評議員、運営協議会委員の皆様、ご協力いただき、地域福祉の発展に努めたいと考えています。令和5年6月23日の評議員会にて選任された理事、評議員、運営協議会委員の皆様、ご協力いただき、地域福祉の発展に努めたいと考えています。

今年度の活動は、地域福祉の発展に努めたいと考えています。令和5年6月23日の評議員会にて選任された理事、評議員、運営協議会委員の皆様、ご協力いただき、地域福祉の発展に努めたいと考えています。令和5年6月23日の評議員会にて選任された理事、評議員、運営協議会委員の皆様、ご協力いただき、地域福祉の発展に努めたいと考えています。

## 第7期地域福祉実践計画策定委員ご紹介

- 委員長 月輪 淳裕  
副委員長 村上 美佳  
委員 古瀬 一芳、丸山 紘司、田中 秀典、岩部 洋、今井 晃、川崎 俊樹、野原 信子、若林 富士女、波部 勇樹、山本 忠史、坂口 由紀子、森 英幸

## 【理事】

- 任期 令和5年6月23日  
令和6年度決算の定時評議員会  
会長 初山 清仁（新任）  
副会長 榑崎 忠彦（新任）  
常務理事 本田 徹（再任）

## 【運営協議会委員】

- 任期 令和5年6月20日  
令和6年度決算の定時運営協議会  
大沼 英明（再任）、畔越 正春（新任）、塩原 秀夫（再任）、大友 晴雄（新任）、笹森 孝雄（再任）、山越 敏彦（新任）、川浦 孝治（新任）、野原 信子（新任）、山本 光子（新任）、中井 幸範（新任）、細山 拓也（新任）、丸山 紘司（再任）、川崎 俊樹（新任）、記虎 大樹（新任）、田中 和樹（新任）、今井 晃（再任）、白坂 裕美子（新任）、若林 富士女（新任）

## 共同募金役員ご紹介

- 任期 令和5年8月2日  
令和6年度総会  
会長 八木橋 義則（新任）  
副会長 月輪 淳裕（再任）  
理事 早坂 義幸（再任）、北野 隆春（新任）、山本 美枝子（再任）、山崎 信治（再任）、佐藤 照男（再任）、山越 敏彦（新任）、喜多村 茂広（再任）、佐藤 唱悦（再任）、仲井 浩祐（再任）  
監事 古瀬 一芳（再任）、村井 守（再任）

# 令和4年度社協決算

## 社会福祉事業 貸借対照表 令和5年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
現金	100,000	事業未払金	2,801,673
普通預金	2,202,963	職員預り金	59,533
事業未収金	3,333,736	賞与引当金	741,272
流動資産計	5,636,699	流動負債計	3,602,478
基本財産	1,000,000	固定負債(退職給付引当金)	4,029,960
車輦運搬具	891,596	負債の部合計	7,632,438
器具及び備品	314,813	純資産の部	
ソフトウェア	242,000	勘定科目	金額
退職給付引当資産	4,029,960	基金(地域福祉活動基金)	1,107,398
応急生活資金貸付資産	520,000	国庫補助金等特別積立金	756,684
福祉活動積立資産	37,471,945	福祉活動積立金	37,471,945
地域福祉活動基金積立資産	1,107,398	基本財産積立金	1,000,000
応急生活資金貸付金	480,000	充実計画資金積立金	21,696,821
充実計画資金積立資産	21,696,821	応急生活資金貸付積立金	1,000,000
車輦購入積立資産	409,019	車輦購入積立金	409,019
その他の固定資産計	67,163,552	その他の積立金計	61,577,785
		繰越金	
		次期繰越活動増減差額	2,725,946
		前前期繰越活動増減差額	3,508,896
		うち当期活動増減差額	△4,375,249
固定資産計	68,163,552	純資産の部合計	66,167,813
資産の部合計	73,800,251	負債及び純資産の部合計	73,800,251

## 公益事業 貸借対照表 令和5年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
普通預金	407,203	事業未払金	849,418
事業未収金	442,215		
流動資産計	849,418	流動負債計	849,418
基本財産	0	固定負債	0
		負債の部合計	849,418
		純資産の部	
		勘定科目	金額
その他の固定資産計	271,173	その他の積立金	0
その他の積立資産	0	繰越金	
		次期繰越活動増減差額	271,173
		前前期繰越活動増減差額	0
		うち当期活動増減差額	△428,827
固定資産計	0	純資産の部合計	271,173
資産の部合計	1,120,591	負債及び純資産の部合計	1,120,591

【令和4年度実績】  
計画 4,140,000円  
実績 3,594,063円  
差引 △545,937円  
※実績内訳(右記事業)  
① 503,000円  
② 1,136,063円  
③ 1,955,000円

【令和4年度事業】  
① 愛らぶ活動事業の充実  
② まちなかカフェ事業の充実  
③ ケアラー支援事業

10年計画  
社会福祉充実計画  
(平成29〜令和8年度)

## 社会福祉事業 資金収支決算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	2,955,900
	分担金収入	90,000
	寄附金収入	1,954,000
	経常経費補助金収入	13,939,902
	受託金収入	24,925,518
	貸付事業収入	986,000
	その他の収入	191,708
	事業活動収入計(1)	45,043,028
	支出	
人件費支出	20,639,790	
事業費支出	21,881,301	
事務費支出	2,026,100	
貸付事業支出	1,159,000	
助成金支出	1,683,000	
事業活動支出計(2)	47,389,191	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,346,163	
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	4,287,063
	その他の活動収入計(4)	4,287,063
	支出	
	基金積立資産支出	100,151
積立資産支出	846,304	
事業区分間繰入金支出	1,419,988	
その他の活動支出計(5)	2,366,443	
その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	1,920,620	
当期資金収支差額合計(7)=(3)+(6)	△425,543	
前期末支払資金残高(8)	3,201,036	
当期末支払資金残高(9)=(7)+(8)	2,775,493	

## 公益事業 資金収支決算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	経常経費補助金収入	424,000
	受託金収入	4,753,100
	事業収入	483,870
	その他の収入	14,570
事業活動収入計(1)	5,675,540	
支出		
人件費支出	2,369,610	
事業費支出	5,150,918	
事業活動支出計(2)	7,520,528	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,844,988	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
固定資産取得支出	275,000	
施設整備等支出計(5)	275,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△275,000	
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	700,000
	事業区分間繰入金収入	1,419,988
	その他の活動収入計(7)	2,119,988
支出		
その他の活動支出計(8)	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,119,988	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	

# 令和4年度社協事業報告

## 地域福祉活動事業

- ・花いっぱい運動……………花苗22,800本植栽  
81町内会・自治会・団体等
- ・愛らぶ活動事業……………6町内会、16自治会  
除雪・見守り対象世帯 84世帯、支援者 81名
- ・ふれあいサロン事業  
……………5町内会、1町内連合会、1連合町内会  
参加対象 186名、運営者 38名
- ・知って得する福祉なんでも講座(出前)…11件
- ・応急生活資金貸付件数……………35件
- ・生活福祉資金……………相談38件、貸付6件
- ・無縁仏、開拓先人供養会(トキト山、二岐、築別・円山、雨煙別)  
中国人殉難者供養会実行委員会に対する援助
- ・遺族会、保護司会栗山分区支援

## 調査企画広報事業

- ・ふれあい広場くりやま……………98名来場
- ・社協だより発行……………3回(8、1、3月)

## ボランティア活動事業

- ・夏休み体験ボランティア……………4つのメニュー  
24名延べ61名
- ・ボランティア連絡協議会、月見草の会、手話の会  
更生保護女性会、赤十字奉仕団、青年団体協議会  
リーディングサービス「とらいあんぐる」、傾聴ボラ  
ンティア「虹」活動支援
- ・学校ボランティア活動普及推進事業……………栗山高校
- ・ちょこっとお手伝い有償ボランティア……………24回
- ・ボランティア活動保険加入促進(13件 301名加入)

## 青少年福祉事業

- ・青少年育成会、初級・上級リーダー研修会

## 心配ごと相談事業

- ・無料法律相談(札幌弁護士会)……………開設15回、相談件数42件
- ・民生委員児童委員協議会助成

## まちなかカフェ事業

### 【サンタの笑顔】

- ・いきいき交流プラザ 月～土曜日の9時～17時
- ・利用者…小中学生23名、一般3,898名 合計3,921名
- ・世代間交流(介護福祉学生協力)  
①介護学生のレクリエーションとカフェ…4回33名  
②タブレット講座……………6回54名
- ・あんしん相談、パソコン利用



介護学生の  
レクリエーション

## ケアラー支援事業

- ・ケアラー支援専門員活動  
○相談所対応……………46件  
○家族介護者交流会……………12回  
○手紙、電話、訪問活動…98世帯、延べ221回
- ・ケアラーサポーター養成講座……………55名参加

## 高齢者/障がい者福祉事業

- ・いのちのバトン配付事業…42本配付(累計578本)  
40町内会 14自治会 1連合町内会 1町内連合会  
地域担当民生委員と連携、お手紙と電話で安否確認
- ・日常生活自立支援事業……………3件  
(在宅の認知症や障害者の方等の金銭管理、書類確認支援等)
- ・車いす貸し出し事業……………39件
- ・歩行器貸し出し事業……………7台
- ・ペット柵貸し出し事業……………3件
- ・入浴補助用具貸し出し事業……………14件
- ・ポータブルトイレ貸し出し事業……………13件
- ・福祉の杖交付……………40本
- ・老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、  
ことばを育てる親の会、手をつなぐ育成会  
障害者自立支援連絡協議会活動支援

## 在宅福祉サービス事業(町受託事業)

- ・配食サービス事業  
○月～金曜日の昼食……………40名延べ3,597食  
(水・金曜日は、46名の調理ボランティアの手作り)  
○月～金曜日の夕食……………41名延べ3,218食
- ・生活支援コーディネーター事業  
角田地区：町内会連合会と連携し、移動販売車  
啓発チラシ角田地区全世帯配付  
錦、継立地区：交流事業実施打ち合わせ
- ・除雪サービス事業……………玄関前207世帯  
排雪、屋根の雪下ろし57世帯
- ・障害者移動支援事業……………延べ281回

### 【かくた】

- ・角田改善センター 毎週金曜日の13時～16時
- ・利用者……………一般954名
- ・カフェボランティア登録者29名(4班体制)
- ・いきいき百歳体操……………46回
- ・保健師、警察、コミュニティFM講話……………3回
- ・タブレット体験講座……………2回
- ・ワークセンター栗の木の出張パン販売

### 【遊歩道の駅つぎたて】

- ・毎週月～土曜日
- ・利用者……………一般1,044名
- ・カフェボランティア登録者……………19名
- ・あんしん相談、コミュニティFM講話……………24回
- ・健康麻雀……………95回
- ・タブレット体験講座……………2回
- ・脳の健康教室自主サークル……………11回

# 第47回

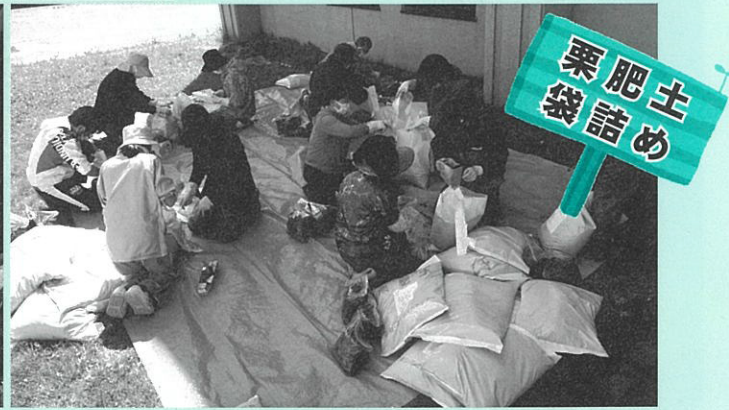
## 花いっぱい運動



令和5年5月28日、81の町内会・自治会や関係団体のご協力により、「花いっぱい運動」を実施いたしました。

公園や街路樹に22,900本の花が植えられました。

実施に先立ち、ボランティア連絡協議会(野原信子会長)加盟の月見草の会、更生保護女性会、赤十字奉仕団、手話の会、女性学級、リーディングサービスとらいあんぐる、傾聴ボランティア「虹」、青年会議所から「栗肥土袋詰め作業」に13名の参加協力をいただきました。



## 夏休み体験ボランティア

7月26日～8月3日までの期間、夏休み体験ボランティアを実施し、栗山高校から16名(延べ25名)が参加されました。

体験は、児童センター、子育て支援センター「スキップ」、ワークセンター栗の木、サンタの「笑顔」でスマホ講座・タブレット体験の5つのメニューに参加がありました。



# 令和5年度社協事業計画・予算

評議員会で令和5年度の事業計画と予算が決定しました

### 地域の見守り支え合い活動の充実

いきいき交流プラザを拠点としたケアラーの支援に係る相談・支援体制の充実を図ってまいります。また介護に不安を抱えておられる方や高齢者世帯への訪問などのアウトリーチに重点をおき、ケアラーの変化に気づく活動から、関係機関につなぐ支援を進めてまいります。

さらに今年度から、高齢者ICT推進事業として、昨年度から実施しておりますスマホ講座・タブレット講座に加え、スマホによる新しい支援活動を展開します。また、身近な地域の中から多様な生活課題の早期発見や問題の深刻化を防ぐため、お互いの“さりげない気づかい”や“ちょっとした目配り”を通じた見守り活動である命のバトン配付事業、愛らぶ活動事業、まちなかカフェ事業等の充実を図ってまいります。

### ボランティアなど地域人材の育成

地域住民がボランティア活動に積極的に参加できる仕組みとして令和4年度より運用開始した「有償ボランティア」事業展開を拡大し、新たなボランティア人材の創出、生活支援サービスの向上を目指すとともに、ボランティア人材の育成を目的とした研修会等を開催してまいります。

また、夏休み期間を利用した学生ボランティア事業や、ボランティア連絡協議会と連携し、様々な活動の担い手の育成を進めるための取り組みを進めてまいります。

### 一人ひとりに寄り添ったサービスの展開

ひとり暮らしや認知症、生活困窮者などの増加により権利擁護事業の充実が求められています。そこで、道社協から一部受託しております日常生活自立支援事業(金銭管理)を活用した支援サービス、行政と連携した相談対応の強化を図り、支援を行ってまいります。

### 行政とのパートナーシップ

社協が地域福祉推進の中核的な存在として、行政とのパートナーシップの推進を図るとともに、生活の拠点である「地域」において充実した生活を営むことができるよう、各種事業を通じて積極的に取り組んでまいります。

以上を令和5年度の重点項目として取り組みますが、この実現のために地域福祉の様々な担い手である町内会・自治会、民生児童委員、ボランティア、教育関係機関、福祉事業者と協働して取り組み、地域の福祉力の向上につなげてまいります。

### 社会福祉事業 資金収支予算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

(単位:円)

事業活動による収支		勘定科目	予算額		
事業活動による収支	収入	会費収入	2,950,000		
		分担金収入	90,000		
		寄附金収入	1,000,000		
		経常経費補助金収入	13,977,000		
		受託金収入	28,839,000		
		貸付事業収入	1,300,000		
		その他の収入	168,000		
		事業活動収入計(1)	48,324,000		
		事業活動による支出	支出	人件費支出	21,834,000
				事業費支出	25,093,000
事務費支出	3,855,000				
貸付事業支出	1,300,000				
助成金支出	2,018,000				
事業活動支出計(2)	54,100,000				
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△5,776,000				
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	9,810,000		
		サービス区分間繰入金収入	1,723,000		
		その他の活動収入計(4)	11,533,000		
		その他の活動による支出	支出	積立資産支出	1,334,000
				事業区分間繰入金支出	2,600,000
				サービス区分間繰入金支出	1,723,000
その他の活動支出計(5)	5,657,000				
その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	5,876,000				
予備費支出(7)	100,000				
当期末支払資金残高(8)=(3)+(6)-(7)	0				

### 公益事業 資金収支予算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

(単位:円)

事業活動による収支		勘定科目	予算額
事業活動による収支	収入	経常経費補助金収入	1,300,000
		受託金収入	4,754,000
		事業収入	1,000,000
		その他の収入	30,000
		事業活動収入計(1)	7,084,000
事業活動による支出	支出	人件費支出	2,486,000
		事業費支出	7,198,000
		事業活動支出計(2)	9,684,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,600,000		
その他の活動による収支	収入	事業区分間繰入金収入	2,600,000
		その他の活動収入計	2,600,000
		その他の活動資金収支差額(4)	2,600,000
当期末支払資金残高(5)=(3)+(4)			

# サンタカフェ

## からのお知らせ

月～土曜日、午前10時からカフェの営業をしております。

読書や休憩、憩いの場としてどなたでもご利用いただけます。

お気軽にお立ち寄りください。

無料  
Wi-Fi完備



### ◆カフェ営業日

- ・月～土曜日  
(日、祝日休み)

### ◆施設開館時間

- ・午前9時～午後5時

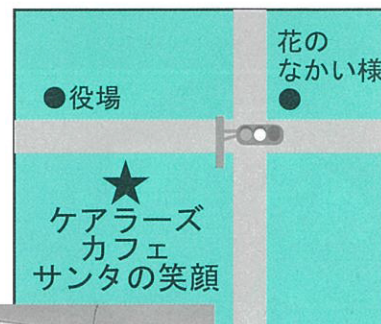
### ◆カフェオープン時間

- ・午前10時～午後4時

### ◆いきいき交流プラザ

まちなかケアラズカフェ「サンタの笑顔」

電話：72-7889



## ご厚志ありがとうございます

令和5年2月15日以降令和5年8月15日までにお寄せいただいた方

### ●金一封

- 片山 學様 (松風2) より  
母の逝去に際して
- 井内 正則様 (北学田) より  
母の逝去に際して
- 渡辺 雅子様 (角田) より  
夫の逝去に際して

- 鵜川 潔様 (継立) より  
母の逝去に際して
- 吉田 礼子様 (中央3) より  
社会福祉事業へ

### ●物品

- 伊藤 恵様 (中央2) より  
シャワーチェア、浴槽台、手すり、滑り止めマット
- ※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります

令和5年9月1日発行(第127号)

発行：社会福祉法人  
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36

栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL (0123) 72-1322

FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

ホームページURL

<http://www.kuriyama-shakyo.or.jp/index.html>

印刷：山東印刷株式会社



社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受けて、作成しています



近年の夏の暑さは、身体に負担を感じるようになっておりますが、今年の夏も30度を超える日が続きました。

暑い日は、熱中症対策に水分補給の必要性がありますが、カフェインやカリウムを多く含む飲み物は水分補給には適さず、麦茶や経口補水液・炭酸水・水等を細目に飲むと良いようです。

ある地域で、朝の早い時間帯に花いっぱい運動で植えた花に水をあげている姿を拝見する機会があり、地域の方のやさしさに感謝の瞬間でした。

編集後記